

入試全般について

願書はどのように入手できますか。	8月末頃から本校ホームページからダウンロードして使用していただけます。
外国籍の生徒は出願できますか。また、在籍数は多いですか。	国内一般生徒枠(G選考)での出願は可能です。また、留学生枠(定員は中学校2名、高等学校3名)を設定しています。留学生枠での受験をお考えの方は、ホームページの こちら をご覧ください。
留学生とは何ですか。	外国籍で海外に在住していた方を指します。
留学生として入試を受けたいのですが、どうしたらいいですか。	こちらのページをご確認ください。 https://www.intnl.doshisha.ac.jp/doshisha-info/?p=3371 留学生の方は、出願日の2ヶ月前までに本校に訪問していただく必要があります。ホームページのお問い合わせフォームよりお問い合わせください。 https://business.form-mailer.jp/fms/01eac6c6271937
信仰の有無や宗教による出願制限はありますか。	出願の際の制限はありませんが、入学後、礼拝や宗教の授業があり、参加・受講は必須です。
プレテストは行われますか。	実施していません。
合格者の男女比は決まっていますか。	決まっていません。
教科試験における合格基準点がありますか。	ありません。受験科目の合計点で合否を決定します。
追加合格や補欠合格はありますか。	ありません。

帰国生徒の資格について

<p>帰国生徒の条件を教えてください。</p>	<p>海外在住証明書をもって帰国生徒として認定します。 認定条件は以下のとおりです。</p> <p>▪帰国生徒の認定 ①abcのいずれかと②abcのいずれかの両方の条件を満たす者</p> <p>① a:日本国籍を有する者 b:特別永住者の資格を有する者 c:日本の法律に定める「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」に該当する者 注 1 :b 該当者は、「特別永住者証明書」の両面コピー、c 該当者は、「在留者カード」の両面コピーが必要</p> <p>② a:海外在住期間が 1 年 6 ヶ月以上の者で、帰国後の期間が海外在住期間を越えない者 b:小学校課程における海外在住期間が 4 年 6 ヶ月以上の者 c:海外在住期間が 5 年 6 ヶ月以上の者 注 2 :帰国後の期間とは、最終帰国の日から当該入学試験の日までとする。 注 3 :海外在住期間は、3 ヶ月以上連続して、保護者に帯同した期間の合計とする。 海外在住期間の証明は、「海外在住証明書(原本)」の提出が必要。(p. 6 参照) ただし、A 選考に出願の場合、海外在住期間に本人の留学期間(正規の学校に 3 ヶ月以上連続して在籍し、1 回以上の正式な成績表が必要)を加えることができる。</p>
<p>帰国生徒入試を受験するために、帰国生徒認定手続が必要とのことですが、どのようにしたらいいですか。</p>	<p>本校ホームページ上または募集要項のQRコードより手続きをおこなってください。入試の実施時期や種類によって、認定期間が異なりますのでご注意ください。</p>
<p>海外在住歴の計算方法を教えてください。</p>	<p>本校の「海外在住期間」の計算方法は、足かけ計算という考え方で算出します。 (たとえば 3/30 出発、7/1 帰国でも、3 月と 7 月を含む期間として、5 ヶ月間と計算します。) 帰国後の期間は、最終帰国年月日から入試日までを実数計算し、端数は切り捨てるといった計算方法をとります。(たとえば、2024/3/31 帰国、入試日 2025/2/10 の場合、帰国後 10 ヶ月と計算します。)</p>

<p>海外在住歴の証明は、どのようにしたらよいですか。</p>	<p>本校の帰国生徒の認定は、文部科学省の定める「保護者の職掌上の都合により海外生活を余儀なくされた者」という定義に基づきます。したがって、以下の順で証明方法をご検討ください。①「<u>海外在住証明書</u>」を作成する。本校のフォーマットに準ずる形で、以下の内容を含めたものであれば、別の書式(英文等)のものを作成していただいてもかまいません。②<u>領事館証明</u>を取得する。在外公館にて所得できる「在留証明」に、ご家族全員のお名前が記載されていれば代用できます。なお、これは海外在住中でなければ取得できません。また、海外在住期間は、居住を始めた日から発行日までで計算します。③受験生の通われていた海外の学校の在籍証明を取得する。お子様の在籍されていた学校(日本人学校は含まない)の在籍期間(発行日まで)を海外在住期間に変えることができます。ただし「<u>個人留学扱い</u>」になりますので、A選考(特別推薦条件Aを含む)のみ受験が可能です。B選考(教科試験)は受験できません。</p>
<p>海外在住証明書の発行者は、自営の場合はどうしたらいいですか。</p>	<p>「海外在住証明書」の証明者として、保護者は認められません。会社の役職のある方に証明してもらってください。</p>

提出書類について

<p>海外の通知表(英語以外)の翻訳は、公的な機関に依頼する必要がありますか。</p>	<p>公的な翻訳を必要とするものではありませんが、保護者の方が責任を持って翻訳してください。書類選考の際に、他の言語の成績表と同様に評価するためです。</p>
<p>海外の通知表(英語以外)の翻訳はどこにつければいいですか。</p>	<p>翻訳は、通知表のコピーに直接書き込んでいただいても、別紙で添付していただいても構いません。別紙で添付される場合、どの通知表の翻訳かわかるようにホッチキスでとめてください。</p>
<p>海外の通知表の枚数がかかり多くなります。成績のわかる部分だけ提出すればいいですか。</p>	<p>枚数が多くても、学校名、受験生の氏名もわかるよう通知表のすべてのページ(表紙を含む)を提出してください。その際、学年ごとにホッチキス等でまとめてください。</p>
<p>提出が必要な海外の通知表を部分的に紛失してしまいました。どうしたらいいですか。</p>	<p>在籍学校に再発行を依頼してください。再発行が不可能な場合は、提出の際に欠損している理由を書いたメモをおつけください。メモがなければ、未提出として審査します。メモがついていても、多くの部分が欠損している場合、書類審査で不利になることもあります。</p>
<p>課外活動における表彰状や語学資格など、自己アピールにつながる書類を提出してもいいですか。</p>	<p>本校が提出書類として求めているもの以外は審査の対象となりませんので、必要のないものは同封しないでください。高校特別推薦入試の自己推薦書の自己PR欄に記載することは可能です。</p>

<p>提出書類の通知表の名前と、願書の名前が一致しない場合はどうしたらいいですか。</p>	<p>受験生が二重の国籍をお持ちで、成績表等の提出書類に記される氏名と出願書類等の氏名が一致しない場合は、「両方の氏名が併記されており、同一人物であることを証明するもの」を別途、提出してください。(二つの氏名が連記されたパスポートのコピー、在籍校による証明書など)</p>
<p>海外の現地校に通っていますが、中学校G選考を受験する予定です。提出書類に【出身小学校の卒業見込証明書(出身小学校長の証印要)】とありますが、すでに小学校は卒業し9月からミドルスクールに通っている場合、どのような書類を提出すればよいですか。</p>	<p>現在在籍されているミドルスクールの在籍証明書を提出ください。その際、「卒業見込証明書の代わりに在籍証明書を提出」のメモを同封ください。</p>
<p>帰国生徒在籍学校レポートについて、現地中学校及び現地高校、それぞれの特色を記入する為、2枚になってもよろしいでしょうか。もしくは1枚にまとめて記入すべきでしょうか。</p>	<p>1枚にまとめてください。</p>
<p>特別推薦<条件 A>を受験する予定ですが、在籍校の校長推薦がもらえません。担任先生やカウンセラーの推薦状などに代替可能でしょうか？</p>	<p>特別推薦入試(条件 A)の「特別推薦」とは、「在籍校の校長からの推薦書」をもって推薦されることを意味します。校長先生のお名前でご証明していただく必要があります。サインがないものは受理することができません。</p>

その他

<p>学校見学は可能ですか。</p>	<p>オープンスクールや学校説明会の日程に一時帰国の日程が合わない海外在住中の帰国生徒に対しては、個別の学校訪問も受け付けております。ご希望日を複数日挙げていただき、本校 HP の学校見学希望申し込みフォームよりお申し込みください。 https://www.intnl.doshisha.ac.jp/information/contact.html ただし、土日祝日、本校一斉休暇中と、入学試験に出願後から試験日までの期間は、お受けすることができません。国内在住の方は、オープンスクールや学校説明会にお越しください。</p>
--------------------	--

<p>試験時の筆記用具に指定はありますか。</p>	<p>ありません。ただし、ボールペンや万年筆使用による汚れや書き損じのためにもう一部答案用紙を配布することはいたしません。</p>
<p>入学時期は4月以外も可能でしょうか。</p>	<p>中1、高1の12月～2月の入学試験で合格された場合に、海外の学校に在籍されている方のみ、入学手続き時に7月入学を選択することが可能です。多くの方が4月入学を選択されていますが、海外の学年の終了タイミングを重視されて7月入学を選択される方もおられます。6月後半に実施している夏編入学試験は、7月入学のみです。</p>
<p>2月の入試の帰国生徒(3教科)と国内一般生徒(5教科)の国数英は同じ問題でしょうか？</p>	<p>入学試験としましては同じ問題ですが、帰国生徒と国内一般生徒では、選考方法や募集定員などの選考区分が異なりますので、結果的に合格最低点などは異なります。</p>